



全国機材商経営同友会

〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目5番5号大同ビル6階 電話03(5295)0135 FAX03(5295)0130 http://www.kaname-g.jp/ 発行人 船木春男 編集人 坂本吉敬

「プラごみ削減」ク店も規制対象に

三幸社から2つの提案

昨年6月に公布、今年4月1日より施行の「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、クリーニング店のハンガーや衣類用カバー(ポリフィルム)など12製品が規制対象となった。ハンガーについては、以前からリサイクルやリユースがなされてきたが、ポリフィルムの対応策については、メーカーに対する期待が高まっていた。

① 集合包装

提案は、大きく分けて2つあり、まず1つ目が集合包装。欧米では一般的に行われているもので、シャツ類なら5枚程度、ジャケットなら3枚程度まとめて包装することで、ポリフィルムを従来の1/3〜1/5程度、削減することができる。

② 軽量・薄肉化

2つ目が、軽量・薄肉フィルム。現在、業界で主流となっている厚さは14ミクロンであるが、このほど三幸社F&Sが販売を開始した「FSe eco X(エコテン)」は10ミクロン。14ミクロンからエコテンに替えれば、単純計算でプラスチック材料を約28.5%削減できることになる。

そんな中、(株)三幸社(東京都八王子市)では、グループ会社である三幸社フィルム&サプライ(株)(以下「三幸社F&S」とも)に、「三幸社ができること」として、以下



▲5枚を一度に包装でき、プラごみ削減を実現



▲集合包装対応型半自動包装機として新発売された「PM-470J」

であるから(欧米では720mm幅のフィルムで集合包装を行っている)。そこで三幸社では、このほど集合包装対応型半自動包装機「PM-470J」を新発売。同

① 軽量・薄肉化

機は720mm幅までのフィルムに対応するもので、欧米と同様にシャツ類なら5枚程度、ジャケットなら3枚程度のまとめ包装が可能。さらに、欧米向け専用機として発売していた全自動包装機「PSI-290」を、このほど国

内でも販売することになった。こちらも720mm幅まで対応するもので、品物はコンベアにより全自動(無人)で包装機に流れるので、大手向けとして注目を集めそうだ。さらに、2種類のフィルムがセットできる現行の半自動包装機「F&S-290」を、このほど国

ロンまで薄くしてきたが、従来の製法では、既に限界を超えていたという。しかし今回、新たな製法を確立したことで誕生したのが「環境問題への対応」と「使用性」を兼ね備えたエコテン。検査機関で調べた結果、引っ張り強度は現行の14ミクロンが30.1なのに対し、エコテンは36.5と、エコテンの方が20%大きく(強い)、静電気の発生に関しても現行の14ミクロンがマイナス14.1なのに対し、エコテンはマイナス0.9と、エコテンの方が極めて小さいことが分かったという。

フィルムドテストを兼ねて、実際に3か月以上使用しているユーザーもいるが、新しいフィルムで起こりがちな、▽すぐ切れてしまう、▽まちまちとシールされない、▽静電気で困る―等といったトラブルは一切ないそうだ。



▲▶新たな製法で作られたFSe eco X

▲手動包装機なら2種類セットが可能



760シリーズ」なら、集合包装用の700mm幅と、個別包装用の600mm幅の同時セットが可能。このように集合包装を行う際も、工場の規模に応じて、選択肢が広がってきた。



▲エコテン開発のキーマンとなった三幸尚久営業部長

■試作/評価を16回!

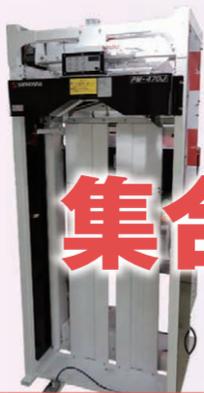
エコテン誕生の背景を開発のキーマン・三幸尚久営業部長に聞いた。

☆ ☆ ☆ クリーニング用フィルムの軽量・薄肉化は、環境問題とは全く別の話で、クリーニング需要の縮小に伴い、多くのクリーニング店からコスト削減が求められて進んできた。結果的には、それがリデュース(ごみを減らす)排出抑制)にもつながったのだが、今回、さらなる削減を求められることになってしまった。

1970年代には25ミクロンが標準であったが、2010年代には14ミクロンまで薄肉化が図られた。しかし、従来の製法では既に限界を超えていたという。そのため、従来の製法

行政(社会)からプラ削減が求められる中、ポリフィルムについては対応策が難しいと考えられてきたが、今回誕生したエコテンは、クリーニング店にとって頼もしい存在となりそうだ。

プラスチック使用量削減へ、三幸社ができることは?



× SDGs

集合包装

軽量・薄肉フィルム

NEW 集合包装対応型半自動包装機 PM-470J

NEW 環境配慮型PPフィルム FS eco X(テン)

通常のフィルム幅600mmに対しPM-470Jは最大720mm幅まで対応
ワイシャツなら5枚、ジャケットなら3枚程度のまとめ包装が可能に
=フィルム使用量1/3~1/5程度削減へ!

一般的なフィルム厚14ミクロン ▶ eco Xのフィルム厚10ミクロン
=プラスチック原料を約28.5%削減!



株式会社 三幸社

〒193-0815 東京都八王子市叶谷町988
TEL:042-621-1181 / FAX:042-620-0751

耳より情報▼
https://sankosha-mfg.com